

## 【社会に適應できる自立した人間になるために必要なこと】

### ～「エナジード」から学ぶ側面について～

皆さんはいずれ社会人となります。皆さんが「社会に適應できる自立した人間」になるために必要なことについて考察します。

#### 1 自立のポイントは「他者とともに生きる」こと

自立には「経済的自立」、「社会的自立」、「精神的自立」の3つの側面があります。

##### 経済的自立

自分で収入を得て生活できるようになる。自分で経済的価値を生み出す。

##### 社会的自立

社会の中で他者との人間関係を構築しながら、社会の一員として生活する。(社会貢献)

##### 精神的自立

自分の言動に責任がとれ、自分の身に起こった問題に対して選択し決定できる。

(自分の周囲に起こる問題を解決でき、また他者と協働しながら目的を達成できる)

社会は「人間と人間の関わり」で成立しているのです。自立のためには根本的に「人としての誠実さ」や「良心」が求められます。簡単に言うと「誠実さ」とは嘘をつかないこと、「良心」とは心の痛みを感じることです。こういったものがなければ、社会的な信頼は得られず、社会に適應していくのは難しいと思います。

#### 2 自立するための「武器」(ソーシャルキャピタル)を獲得する

自立した社会人になるためには、「人とつながる力を養う」ことが必要です。これはソーシャルキャピタル(人間関係資本)と言われるもので、人との信頼関係や人脈のことです。それが社会に適應するための元手(資本)になるという考え方です。つまり、「人とつながる力」こそが自立した社会人になるための「武器」になるのです。

#### 3 自分の特性(考え方の傾向など)を理解する ～自己理解について～

自立した社会人になるためには「人とつながる力」を獲得することが大切です。そのためには、自分の特性(考え方の傾向など)を知り、自分にはどのような社会的不適應を高めると考えられる要因(リスク要因)と社会的不適應を予防すると考えられる要因(保護要因)があるのかを理解し、リスク要因を下げ保護要因を上げて、自分の考え方に柔軟性(弾力)をもたせることが必要となります。したがって、「自己理解」はとても重要です。

**エナジードで学習する目的は、「自己理解を深め、理想の大人像を具現化する」ことです。**また、「理想の大人像」は「自立した人間」でもあるわけです。今後、エナジードで自己を見つめる際に、この視点を持って欲しいと思います。